

地名	アイヌ語	意味
札幌	サッ・ポロ・ペッ (sat poro pet) サル・ポロ・ペッ (sar poro pet)	乾いた広大な川 葦原の大きな川
小樽	オタ・オル・ナイ (ota-or-nay)	砂浜の中を流れる川
登別	ヌプルペッ	濁れる川
知床	シレトク、シレトコ (sir etok)	地の果て
苫小牧	ト・マク・オマ・ナイ (to mak oma nay)	沼の奥にある川
富良野	フラヌイ (huranuy)	臭い匂いのする所
真駒内	マク・オマ・ナイ (mak oma nay)	奥にある川
室蘭	モルラン	小さな下り坂のあるところ
稚内	ヤム・ワッカ・ナイ (yam wakka nay)	冷水のある沢
摩周湖	カムイ・トー カムイ＝神、カムイシュ＝老婆	神の湖
大雪山	カムイミンタラ	神々の遊ぶ庭
利尻	リ・シリ	高い・島
ヒグマ	キムンカムイ	山の神

1. イランカラプテ

i-ram-karap-te

(訳) はじめまして

→ ウウェランカラプ アン ナー
u-werankarap an na

(訳) お互いに挨拶しますよ

2. イワンケノ エチ・オカ ヤー?

iwanke-no eci=oka ya

(訳) あなたたちはお元気ですか。

→ イワンケノ オカ・アシ ワー
iwanke-no oka=as wa

(訳) 私たちは元気です。

3. エ・イワンケ ヤー?

e=iwanke ya

(訳) 君はお元気ですか。

→ エー、 ク・イワンケ ワー
e ku=iwanke wa

(訳) はい、私は元気です。

●イランカラプテー [こんにちは、はじめまして]

●イワンケ [元気だ、健康だ]

●オカ [いる、ある、住む、暮らす]

●アシ [私、私たち] ……人称接辞

●エ [お前、あんた、君] ……人称接辞

●ク [私] ……人称接辞

●エチ [あなたたち] ……人称接辞

「イランカラプテー」というのは、イ=それ(あなた)の、ラム=心、カラプ=触れる、テ=させる、「あなたの心にそっと触れさせていただきます。」「ウウェランカラプ アンナー」は、ウ=お互い、ウェ(エ)=それ、ラム=心、カラプ=触れる、アン=私たち、ナー=～する、「お互いの心にちょっと触れ合いましょうね」、というのが挨拶言葉の本当の意味です。

1. ワッカ エンコレ
wakka en=kore

(訳) 水をちょうだい

→ エー
e

(訳) はい

イヤイライケレー
i-yay-rayke-re

(訳) ありがとう

2. フンペリカ ウナラペ カシコセ (カシ ク・オセ)
humpe-rika unarpe kasikose (kasi ku=os)

(訳) おばさん、鯨の脂を背負ってきたよ。

→ フーン ク・マツカラク エ・エクヒ ピシノ イモカ トシカ
hun ku=mat-karku e=ekhi pis-no imoka toska

イカオシケ クスケライポ フンペリカ ケ(ク・エ) エアシカイ.
ika-o-sike kusu keraypo humpe-rika ke (ku=e) e-askay

ヒオーイオイ
hi-oy-oy

(訳) まあまあ、私の姪、お前は来るごとにみやげ物の山を私のために背負って来る、
そのお陰で鯨の脂身を私は食べれる。ありがとう。

- ワッカ[水]
- ウナラペ[おばさん (他人) 伯母、叔母]
- カシコセ[みやげ物をを持って行く]
- マッカラク[姪]
- エク[来る]
- イモカ[みやげ]
- イカオシケ[背負う]
- ケライポ[お陰]
- エアシカイ[～が出来る]

昭和 10 年前後私が子供の頃、祖母が「クコロシヨン アラパ ワッカ タ ワ
エク エオンネチキ ワッカ エチクレ クシネナ」、「孫よ行って水を汲ん
できてくれ、お前が歳を取ったらおれが水を飲ませるから」と、ユーモアたっぷりで、祖
母は上手に孫に話しかけながら仕事をさせたものでした。

祖母の姉のくりぬえが門別村幾千世へお嫁に行き、くりぬえの子供たちが鯨の脂身を背
負って遊びに来ると「フーン ペンチャイ コヤンペコロ」、「私の所へ帆掛け船いつ
ぱいに物を積んで来たようだ」と言って喜んでいたものでした。

1. スィ ウヌカラ アン ロー
suy u-nukar an ro

(訳) また (もう一度)、お会いしましょう

→ スィ ウヌカラ アン ロー
suy u-nukar an ro

2. サランパ
sarampa

(訳) (さようなら) *家の外へ出てからの挨拶

→ サランパ
sarampa
(訳) さようなら

3. サランパキ・アン ナー
sarampa·ki=an na

(訳) 「いとまごい」をしますよ。

→ サランパキ・アン ナー
sarampa·ki=an na

4. ヤイトゥパレノ パイエ ヤン
yaitupare-no paye yan

(訳) 気を付けて行きなさい *見送る人が帰る人に対して言う。

5. ヤイトゥパレノ アラパ
yaitupare-no arpa

(訳) 気を付けて行け *見送る人が帰る人に対して言う。

●ヌカラ[見る、見える]

●ヤイトゥパレ[気をつける、注意する]

●パイェ[行く、出発する]

●アラパ[行く、発つ(出発する)]

昭和10年前後、当時90歳くらいの祖母の手を引いてニール・ゴードン・マンロー先生の所へ行き、マンロー先生と祖母がお別れをする時にはいつも「サランパキ アン ナー」と言って手を握りあっていた記憶があります。「さようなら」と言うときには、そのようにしたものでしょう。目で見ても、耳で聞いた思い出です。

. ア・レヘ マク ア・イエ?
a=rehe mak a=ye?

(訳) あなたの名前は何と言いますか。

→ ク・レヘ アナクネ ○○○ ネ
ku=rehe anakne ○○○ ne

(訳) 私の名前は○○○です。

→ カニ (ク・アニ) アナクネ ○○○ ク・ネ
kani (ku=ani) anakne ○○○ ku=ne

(訳) 私は○○○です。

2. エ・レヘ マク ア・イエ?
e=rehe mak a=ye?

(訳) 君の名前は何と言うの。

→ ク・レヘ アナクネ ○○○ ネ
ku=rehe anakne ○○○ ne

(訳) 私の名前は○○○です。

→ カニ (ク・アニ) アナクネ ○○○ クネ
kani (ku=ani) anakne ○○○ ku=ne

(訳) 私は○○○です。

- レヘ [名前]
- マク [どのように、何]
- カニ [私]
- アナクネ [～は]
- ネ [～です]

自己紹介をするときにまずどういうことを言うかということ、例えば私・萱野茂であれば「私はシシリムカ（沙流川）のほとりにピパウシコタン（貝のある沢・村＝二風谷村）で生まれ、父はアレクアイヌ、母ははつめ」というふうに、自分の氏素性を明かすことがとても大事だとされています。大きな声で言うことのできる立派な祖先を持つように、という教えでもありました。

1. タアンペ ヘマンタ アン？
 taan pe hemanta an？

（訳）これは何ですか。※目の前の物を見ながら質問する場合

→ タアンペ アナクネ フイペ ネ
 taan pe anakne huype ne

（訳）これは肝臓です。

→ タアンペ アナクネ ペネエモ ネ
 taan pe anakne pene-emo ne

（訳）これは「潰れた芋」です。

→ タアンペ アナクネ アイヌシト ネ
 taan pe anakne aynu-sito ne

（訳）これはアイヌ風の団子です。

→ タアンペ アナクネ マカヨ ネ
 taan pe anakne makayo ne

（訳）これはフキノトウです。

→ タアンペ アナクネ コロコニ ネ
 taan pe anakne kor-kon ne

（訳）これはフキです。

- フイペ[肝臓]
- ペネエモ[潰れた芋]
- アイヌシト[アイヌ風団子]
- マカヨ[フキノトウ]
- コロコニ[フキ]

例えば店屋へ行き物を買う場合、「この物の値段は？」と尋ねるときには、「タアンペ マクアタエヘ アン ルウェ アンペネー」あるいは「タアンペ マクアタエヘ アン」と言いますが、アタエへは値段のことです。「タアンペ ヒナコロペ アン」は「これは誰の持ち物？」「タアンペ フナエ ルウェ ネ」は「これは誰がたべるもの？」などと、タアンペは、「これ」、「このものは～？」という疑問文に使います

1. フナク ワ エ・エク？

hunaku wa e=ek?

(訳) 君はどこから来たの。

→ ヌプルペツ ワ ケク (ク・エク)

NUPURPET wa kek (ku=ek)

(訳) 登別から来ました。

→ クスリ ワ ケク (ク・エク)

KUSURI wa kek (ku=ek)

(訳) 釧路から来ました。

→ トマム ワ ケク (ク・エク)

TOMAM wa kek (ku=ek)

(訳) 占冠町のトマムから来ました。

→ ムペツ ワ ケク (ク・エク)

MUPET wa kek (ku=ek)

(訳) 鷺川から来ました。

→ シコッ ワ ケク (ク・エク)

SIKOT wa kek (ku=ek)

(訳) 千歳から来ました。

●フナク[どこ]

●エク[来る]

沙流川の古い名前はシシリムカといいます。シ=本当に、シリ=辺り、ム=詰まる、カ=させる、上流で雨がたくさん降ると水かさが増し河口が南へ寄ったり西へ寄ったりするので、本当に詰まる川が、沙流川の元の名前です。沙流川と平行して沙流川の西側を流れ、太平洋に注ぐ川が鷺川、鷺川も河口が南へ寄ったり西へ寄ったりする、ム=詰まる、ペツ=川です。ムは、キセルやパイプが詰まってもムといい、いろいろなときに使われる言葉です。